

活動報告書兼領収書等添付票

項目	調査研究費
整理番号	1

① 年月日・時間	令和2年11月11日(水) ①13:00～ ②14:20～ ③15:40～ 令和2年11月12日(木) ④10:30～11:30 ⑤13:30～14:30																																																	
② 場所	①～⑤参議院議員会館(東京都千代田区)																																																	
③ 相手方	①環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 大北 博紀 課長補佐 ②国土交通省 不動産・建設経済局 土地政策課 公文 美貴 課長補佐 法務省 民事局 局付 小田 智典・吉賀 朝哉 ③文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 齋藤 徳史 課長補佐(併)進路指導調査官 ほか ④農林水産省 農村振興局 整備部 防災課 山本 恵太 防災・減災対策室長 農林水産省 経営局 就農・女性課 阿部 一徳 経営専門官(就農促進グループ) 農林水産省 生産局 農業環境対策課 荒川 達朗 課長補佐(生産工程管理調整班担当) ほか ⑤経済産業省 経済産業政策局 地域経済産業グループ 地域企業高度化推進課 福元 裕也 課長補佐 ほか																																																	
④ 参加者	①～⑤徳島県議会議員 原徹臣、増富義明、井下泰憲、立川了大																																																	
⑤ 目的・内容	①地方自治体のゴミ処理について(新しく整備するゴミ焼却施設についての手続き、支援等、全国の参考事例) ②所有者不明土地問題の現状と今後の対策について ③『非認知能力』に着目したキャリア教育の推進について(全国の取組事例、今後の施策等) ④農林水産に特化した担い手不足対策、輸出におけるHACCPやハラール対応、GAP等について ⑤中小企業に対する経営支援(地域中核企業創出・支援事業、中心市街地活性化、リーサス・地域経済分析システム)について ①～⑤について各省庁の職員から説明聴取と質疑応答を行った。																																																	
⑥ 政務活動以外の活動 (議会・後援会・政党活動等)が含まれている場合はその内容及び按分率の根拠																																																		
⑦ 経費	<table> <thead> <tr> <th>費目</th><th>領収書金額 (円)</th><th>按分率 (/)</th><th>充当金額 (円)</th><th>支払の内容</th><th>支払 証明書</th><th>自動車 使用記録簿</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td><td>37,800</td><td>10/10</td><td>37,800</td><td>1泊2日 バック旅費 37,800円 往 路: 11/11 JAL454 徳島 9:10発→羽田10:20着 復 路: 11/12 JAL463 羽田18:20発→徳島19:40着 宿泊先: 相鉄フレッサイン新橋鳥森口</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>交通費</td><td>7,070</td><td>1/2</td><td>3,535</td><td>11/11 タクシー代 (羽田⇒参議院会館)</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>交通費</td><td>1,140</td><td>1/4</td><td>285</td><td>11/11 タクシー代 (参議院会館⇒宿泊先)</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>交通費</td><td>2,360</td><td>1/4</td><td>590</td><td>11/12 タクシー代 (宿泊先⇒参議院会館)</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>交通費</td><td>8,580</td><td>1/4</td><td>2,145</td><td>11/12 タクシー代 (参議院会館⇒羽田)</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>合計</td><td>56,950</td><td></td><td>44,355</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	費目	領収書金額 (円)	按分率 (/)	充当金額 (円)	支払の内容	支払 証明書	自動車 使用記録簿	旅費	37,800	10/10	37,800	1泊2日 バック旅費 37,800円 往 路: 11/11 JAL454 徳島 9:10発→羽田10:20着 復 路: 11/12 JAL463 羽田18:20発→徳島19:40着 宿泊先: 相鉄フレッサイン新橋鳥森口			交通費	7,070	1/2	3,535	11/11 タクシー代 (羽田⇒参議院会館)			交通費	1,140	1/4	285	11/11 タクシー代 (参議院会館⇒宿泊先)			交通費	2,360	1/4	590	11/12 タクシー代 (宿泊先⇒参議院会館)			交通費	8,580	1/4	2,145	11/12 タクシー代 (参議院会館⇒羽田)			合計	56,950		44,355			
費目	領収書金額 (円)	按分率 (/)	充当金額 (円)	支払の内容	支払 証明書	自動車 使用記録簿																																												
旅費	37,800	10/10	37,800	1泊2日 バック旅費 37,800円 往 路: 11/11 JAL454 徳島 9:10発→羽田10:20着 復 路: 11/12 JAL463 羽田18:20発→徳島19:40着 宿泊先: 相鉄フレッサイン新橋鳥森口																																														
交通費	7,070	1/2	3,535	11/11 タクシー代 (羽田⇒参議院会館)																																														
交通費	1,140	1/4	285	11/11 タクシー代 (参議院会館⇒宿泊先)																																														
交通費	2,360	1/4	590	11/12 タクシー代 (宿泊先⇒参議院会館)																																														
交通費	8,580	1/4	2,145	11/12 タクシー代 (参議院会館⇒羽田)																																														
合計	56,950		44,355																																															

議員本人による確認欄 (次の事項に間違いがなければ自筆で☑を記入すること)	会派使用欄
☒ 当該支出は政務活動費の使途基準 (条例第2条第1項) に合致した適正な支出である	経理責任者審査 
☒ 政務活動以外の活動が含まれている場合、活動実績等に応じた按分がされている	
☒ 充実に適さない会費等 (例: 酒類が提供される会合への参加費) は含まれていない	
☒ 費用弁償が支給される公務日との重複はない	

(裏面)

本欄に領収書等を添付してください。

※裏面は各項目（参考様式1～11）共通です。

※領収書は重ならないように添付してください。

貼りきれない分は、A4用紙（任意様式）に貼り付けてください。

【按分による支出の場合】

按分率	
政務活動費の支出額	円

（注）事務所費の場合は「事務所状況報告書」と同じ按分率

【経費の一部に充当した支出の場合】

政務活動費の支出額	44,355 円
-----------	----------

領 収 証

令和 2年10月29日

原 徹 臣 様

¥ 37,800-

但 JAL エアライン東京

上記金額領収いたしました

収 入

印 紙



有限会社 山瀬ト

〒779-3403 徳島県麻植郡山瀬町山瀬
☎0883-42-6000



領収書
現・チ・ク・割引
日付 20年11月11日
車番 0542 000
メータ運賃 ¥6,420円
ETC料金 ¥650円

運賃料金計 ¥6,420円
通行料他 ¥650円
合計金額 ¥7,070円
上記の通り領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。
お忘れ物、お気付きの点は当社へ



東京七福タクシー(株)

TEL 03(3696)1729

***** ETC通行履歴 *****
ETC料金合計 ¥650円
空港中央東→ 飯倉出口 ¥650円

No.3756
領収書
2020年11月11日
車番 476178 000
メーター 1140円
運賃合計 1140円

合計 1140円
日本自動車交通株式会社
お忘れ物、お気付きの点は、
TEL 03-3337-3102
<http://www.nihon-jidoushakoutsu.co.jp>

領 収 書

日付 2020年11月12日
 車番 1613
 基本運賃 ¥1140円
 △ 計 ¥1140円
 (内消費税等 ¥103円)
 ----- 内 訳 -----
 現金支払 ¥1140円

kmグループ 国際自動車㈱ 羽田営業所
 東京都大田区平和島5-8-3
 忘れ物、領収書問合せ 03-3766-5931
 お客さま相談室 0120-717-039

<ナビコード>
 A44-4714-0276
 (営業回数0674)

領 収 書

日付 2020年11月12日 No. 3022
 車番 1362
 運賃 ¥1220円
 △ 計 ¥1220円
 上記の通り領収致しました

大和自動車㈱
 ☎ 3633-6611
 無線配車センター ☎ 3563-5151

東京最大級のタクシーアプリ
 S.RIDE

ダウンロードはこちら



領 収 書

日付 2020年11月12日
 車番 6561
 基本運賃 ¥7860円
 ETC料金 ¥720円
 △ 計 ¥8580円
 (内消費税等 ¥780円)
 ----- 内 訳 -----
 現金支払 ¥8580円

kmグループ 品川自動車タクシー㈱
 東京都板橋区向原3-10-11
 忘れ物、領収書問合せ 03-3955-3114
 お客さま相談室 0120-717-039

<ナビコード>
 A47-1933-2401
 (営業回数3725)

活動報告書兼領収書等添付票

項目	調査研究費
整理番号	2

①	年月日・時間	令和2年7月21日、令和3年3月10日						
②	場所							
③	相手方							
④	参加者							
⑤	目的・内容	徳島県議会各議員連盟 令和2年度会費						
⑥	政務活動以外の活動（議会・後援会・政党活動等）が含まれている場合はその内容及び按分率の根拠							
⑦	経費	費目	領収書金額 (円)	按分率 (/)	充当金額 (円)	支払の内容	支払 証明書	自動車 使用記 録簿
		会費	1,000	10/10	1,000	徳島県議会過疎対策推進議員連盟会費		
		会費	4,000	10/10	4,000	徳島県議会防衛議員連盟会費		
		会費	△ 3,000	10/10	△ 3,000	徳島県議会防衛議員連盟会費返金		
		合計	2,000		2,000			

議員本人による確認欄（次の事項に間違いがなければ自筆で☑を記入すること）	会派使用欄
☒ 当該支出は政務活動費の使途基準（条例第2条第1項）に合致した適正な支出である	経理責任者審査 
☒ 政務活動以外の活動が含まれている場合、活動実績等に応じた按分がされている	
☒ 充実に適さない会費等（例：酒類が提供される会合への参加費）は含まれていない	
☒ 費用弁償が支給される公務日との重複はない	

(裏面)

領 収 証
令和2年7月21日
原 徹 臣 様
¥ 1, 0 0 0 -
令和2年度会費として、上記の金額を領収しました。
徳島県議会過疎対策推進議員連盟 領 収

領 収 証
令和2年7月21日
原 徹 臣 様
¥ 4, 0 0 0 -
令和2年度会費として、上記の金額を領収しました。
徳島県議会防衛議員連盟 領 収

返金証明証
令和3年3月10日
原 徹 臣 様
¥ 3, 0 0 0 -
令和2年度会費のうち、上記金額を返金しました。
徳島県議会防衛議員連盟 返 金

【按分による支出の場合】

按分率	
政務活動費の支出額	円

(注) 事務所費の場合は「事務所状況報告書」と同じ按分率

【経費の一部に充当した支出の場合】

政務活動費の支出額	円
-----------	---

活動報告書兼領収書等添付票

項目	広聴広報費
整理番号	1

① 年月日	令和3年2月28日						
② 内容	・発行部数 : 26,237部 ・配布方法 : ポスティングにて配布 ・内容 : 県政報告を印刷し、鳴門市において上記の方法により地域住民に配布し、広報広聴活動を行う。						
③	政務活動以外の活動 ・(議会・後援会・政党活動等)が含まれている場合はその内容及び按分率の根拠						
④ 経費	費目	領収書金額 (円)	按分率 (/)	充当金額 (円)	支払の内容	印刷 成果 物	発送 物写 し
	制作費 印刷費 配布代	1,108,248	10/10	444,453	県政報告のレイアウト・デザイン代・印刷代一式 26,237部×単価15.4円=404,049円 消費税 40,404円	レ	
				144,303	加工代(区分け) 26,237部×単価5円=131,185円 消費税 13,118円		
				519,492	ポスティング代 26,237部×単価18円=472,266円 消費税 47,226円	レ	
	合計	1,108,248		1,108,248			

(注) 専ら来賓や後援会長挨拶ばかりで、議員自らによる県政報告や参加者との意見交換等がないものについては、政務活動とはみなされません。

(注) 印刷費を計上している場合は、当該印刷費に係る成果物を添付すること。

(注) 郵送費を計上している場合は、支払の内容欄に発送数及び発送内容を記載の上、発送物の写しを提出すること。

議員本人による確認欄 (次の事項に間違いがなければ自筆で☑を記入すること)	会派使用欄
☒ 当該支出は政務活動費の使途基準(条例第2条第1項)に合致した適正な支出である	経理責任者審査 
☒ 政務活動以外の活動が含まれている場合、活動実績に応じた按分等がされている	
☒ 後援会主催の報告会等ではない	
☒ 参加者等に対してお茶及びお茶うけを超える飲食(公職選挙法の制限を超える飲食)の提供はない	
☒ 印刷費を計上している場合は、成果物(現物)が添付されている	
☒ 郵送費を計上している場合は、発送数及び発送内容が記載されており、発送物の写しが提出されている	

(裏面)

本欄に領収書等を添付してください。

※裏面は各項目（参考様式1～11）共通です。

※領収書は重ならないように添付してください。

貼りきれない分は、A4用紙（任意様式）に貼り付けてください。

領 収 証		No.
徳島県議会議員 原徹臣 殿		
金額	¥ 110,824.8	
但し	上記金額正に領収致しました	
	令和 3 年 3 月 2 日	
鳴門市撫養町黒崎字松島		
有限会社	三星堂印刷	
	電話 (088) 685-3343 番	

【按分による支出の場合】

按分率	
政務活動費の支出額	円

(注) 事務所費の場合は「事務所状況報告書」と同じ按分率

【経費の一部に充当した支出の場合】

政務活動費の支出額	円
-----------	---

鳴門市の皆様へ

地方こそ成長の主役

【発行】徳島県議会議員 原 徹臣

〒772-0011 徳島県鳴門市撫養町大桑島字津岩浜 14-12

- 消費者・環境対策特別委員会 委員長
- 文教厚生委員会 委員
- 企業会計決算認定特別委員会 副委員長
- 政策条例検討会議 委員

令和2年はこれまで当たり前だったものが大きく変化し、地域の生活や産業に大きな影響を及ぼしました。

私たち県議会もこれまで総額859億円を超えるコロナ対策予算のほか、様々な予算審議を通じて地域の声、現場の声を届けてきました。しかし、まだまだ明日への不安を抱えた方や社会構造や制度の間で取り残されかけている方もいらっしゃると思います。

国・県・市が連携し、3つの国難「新型コロナ対策」「人口減少対策」「災害列島対策」の対応に責任を持って取り組んで参ります。



1年間の活動

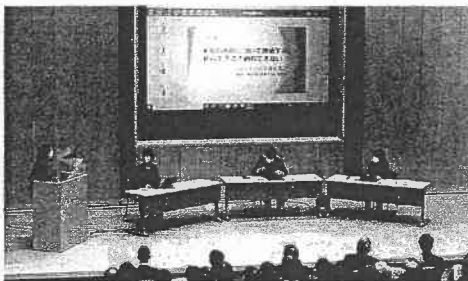
水路障害・農業被害



農家さんから相談を受けた、旧吉野川水系、鳴門市農業用水路に大量発生している南米原産の多年草ナガエツルノゲイトウの駆除が、大規模に行われます。

また、対策協議会が発足され徳島大、県、市と連携して行きます。

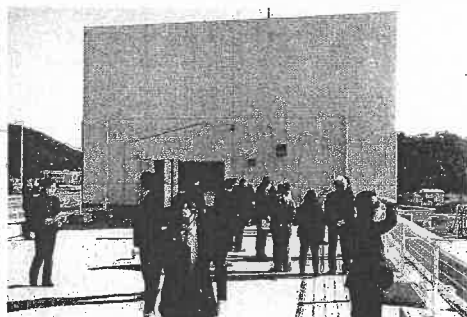
GIGAスクール研修視察



コロナ禍で当初のスケジュールよりも早く取り掛かることになったGIGAスクール構想ですが、徳島県では全国に先駆け、県立すべての高校への1人一台タブレットの導入を6月議会にて決定しました。

すべての子どもたちに自ら考えて自ら行動する力と、個人差や多様な価値観を認めてサポートしていく事が目的です。

リタイアインフラの利活用



牟岐町にある旧海部病院を改修した宿泊療養施設の見学会に行ってきました。

徳島県の医療資源の逼迫解消とともに、アフターコロナを見据えた南部地域の起爆剤となる施設になることを期待しております。

省庁研修



11月11日から2日間、4つの省庁で8項目の研修を受けてまいりました。

〈環境省〉自治体のゴミ処理について
〈文科省〉キャリア教育における非認知学習の現状と今後について

〈農水省〉防災重点ため池対策について／新規就農支援について／GAP・HACCPについて

〈経産省〉地域企業支援・中小企業支援について／中心市街地活性化施策について／リーサスを用いた地域づくりについて

新たな海上交通実証実験



新しい交通手段として徳島～関西国際空港における高速船の実証実験が行われ、鳴門から関空まで船に乗ってきました。

コロナ禍以前は、年間800万人超えの外国人観光客が利用していた関西国際空港。高速船を使えばたった2時間足らずの徳島、ここに新しくどんな導線を描けるのかはとても重要です。

小松島和田島海上自衛隊第24航空隊視察



徳島県議会議員としての1年間の情熱と思いを込め、11月定例会での一般質問・答弁要約、各委員会における活動内容、活動報告等を掲載しています。皆様、お手元に届きましたら、ぜひご一読いただき、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご要望・ご意見をお聞きしながら、全力で政治活動に邁進して参ります。

一般質問の様子は徳島県議会HP <http://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/>で動画配信しています。ご覧ください。

新たな「海上交通」について

問 陸・海・空の総力を結集した交通ネットワークを充実し、より大きな人の流れを作る取組みを進めるべきと思うが、大阪・関西万博に向け、先日の実証運航の結果を踏まえ、新たな海上交通を今後、どうブラッシュアップしていくのか。

答 運航ルートや寄港地に関する観光情報の提供方法、迫力ある鳴門の渦潮や幻想的なサンセットなど、クルーズに適した時期や時間帯、寄港エリアなどの検討を進める。

本県と関西を結ぶ新たな海上交通が、夢と希望の新交通ネットワークとして、アフターコロナ時代を見据えた国内外からの誘客促進や、更なる交流人口拡大の切り札となるよう2025年大阪・関西万博に向け、しっかりと取り組む。(知事答弁)



「鳴門公園」の魅力度向上について

問 ワールドマスタースゲームや大阪・関西万博に向け大きく動き出している中、鳴門公園を魅力アップすることで、この好機をいかに四国の地域活性化に結びつけることができるか、ここ数年の取組みが大変大事であると思う。

そこで、今後の公園施設の老朽化対策や良好な景観維持など、鳴門公園における魅力度向上にどのように取り組んでいくのか。

答 これまでも、千畳敷展望休憩所の耐震化等、公園の再生を実施するとともに、公衆トイレについても洋式化を順次進め、徳島ならではの快適なトイレに改修し、観光地のイメージアップを図ってきた。

来年度からは、お茶園の休憩所について、耐震化等のリニューアルに着手するとともに、眺望を阻害している樹木の伐採を行う。

加えて、公園全体の利活用についても、自然公園を満喫するイベント開催への支援や、公園内の観光スポットを結ぶ散策ルートの設定等、アフターコロナ時代を見据えた新たな時代にふさわしい公園づくりを計画的に進める。(政策監答弁)

魚類養殖の振興について

問 消費者の魚離れや輸出の拡大など、魚類養殖を取り巻く環境変化を踏まえ、中長期的な視点に立った対策も強化する必要があると思う。

そこで、コロナ禍の影響がいまなお顕著な魚類養殖の振興に、今後どのように取り組むのか。

各委員会質問(質問・答弁要約)

消費者・環境対策特別委員会、文教厚生委員会、企業会計決算認定特別委員会での質問・答弁をまとめております。

令和元年度 2月定例会 県土整備委員会

【質問】

2025年大阪・関西万博に向けて関西から徳島に大勢のインバウンドを呼び込み、徳島県の地域活性化につなげるには陸海空の交通手段の充実が大変重要だと捉えている。

陸の本州四国連絡道路、高速バス、大鳴門橋の自転車道の設置事業、構想としましては四国新幹線、空の香港との国際線就航、海の南海フェリーに加えて、関西国際空港夢洲とを直接結ぶ、新たな海上交通について、県の考え聞かせたい。

【答え】

東京オリンピック・パラリンピックが、また来年にはワールドマスタースゲームズ、四国デスティネーションキャンペーンというのも開催されるということで、更に2025年には、大阪・関西万博が予定されておりまして、インバウンドの更なる増加が見込まれるところでございます。

これは絶好のチャンスということになりますので、これを更に本県に活かすためには様々なニーズに応じた、関西からの陸海空における多様な交通手段の確保というのが必要でございます。また、本県の誘客促進、また交流人口の拡大というのがそれで図られるものと考えております。

そこで、昨年1年間で関西国際空港は、過去最高の2,500万人が利用したと聞いております。関西国際空港を活用するべく四国のゲートウェイとしての役割を担うということが求められていると考えておるところでございます。

そこで、県といたしましては多様な交通手段の一つといたしまして、本県と関西圏域を結ぶ新交通ネットワークの構築を目指しまして、新たな海上交通の導入に向けた取組が重要であると考えておりまして、この度、予算を計上させていただいたところでございます。

令和2年度 4月徳島県議会臨時会 文教厚生委員会(事前) 保健福祉部・病院局

【質問】

医療従事者に対して、今後、本県で新型コロナウイルスの感染者が増加した場合、どのような対策をしていくのか。

【答え】

医療従事者については、ホテル等を借り上げた場合で、まだ陽性患者を入れていないような状態のホテルに泊まっていただけないか検討を行っている。心のケアについては、県の施策として万代庁舎の正面玄関側をブルーライトで照らすなど、医療従事者に対する感謝の気持ちを伝えるといった取組を行っている。

令和2年度 6月徳島県議会定例会 文教厚生委員会(事前) 教育委員会

【質問】

GIGAスクール構想時代の児童生徒一人一台のタブレット端末を活用した授業における教員の指導力向上を今後どのように進めていくのか。

【答え】

全ての義務教育段階の教員が授業等での指導を円滑に始められるよう、年度内にタブレット端末の機能を習得するための研修を全ての教員を対象に実施する予定である。

令和2年度 6月徳島県議会定例会 文教厚生委員会(付託) 保健福祉部・病院局

【質問】

徳島県鳴門病院の令和2年度の収支改善にどのように取り組んでいくのか。

【答え】

収益面では、脊椎脊髄手術件数の更なる増加を図り、入院収益の増加を図る。また、4月に救急専門医を採用、救急料を新設しており、救急搬送患者の受入れ数の向上を図る。費用面については、病院局と連携し共同購入の拡大等による費用の更なる削減に取り組む。

【質問】

徳島県鳴門病院第3期中期目標の特徴や新たに病院に求めていく事項は何か。

【答え】

救急医療については、救急医療圏の自己完結率を高めるため、施設整備を推進し、救急医療体制充実を図る。がん医療の高度化として、高度医療機器の導入、緩和ケアの患者ニーズに対応する県北部におけるがん診療提供体制を構築し、がん診療のフルセット対応を図る。感染症対策の推進については、新規項目として、新型コロナウイルスの対応を図る。

令和2年度 6月徳島県議会定例会 文教厚生委員会(付託) 教育委員会

【質問】

国のGIGAスクール構想及び地方創生臨時交付金を活用した、児童生徒一人一台のPCやタブレット端末の整備による教育への効果をどのように考えているのか。

【答え】

端末を通して児童生徒一人ひとりの学習状況が把握しやすくなる。また、距離の制約がなくなり、国内外の学校や研究機関など多様な人材リソースの活用が可能となり、各学校で特色ある取組が一層進むと期待される。

令和2年度 9月徳島県議会定例会 文教厚生委員会(事前) 教育委員会

【質問】

家庭に通信環境のない場合の通信費の負担はどのように考えるのか。

【答え】

通信費の負担については、県で行うモデル事業の運用状況を見ながら、徳島県GIGAスクール構想推進本部において、支援の方針を検討し、必要があれば国への要望等を行っていきたいと考えている。

令和2年度 9月徳島県議会定例会 文教厚生委員会（付託）保健福祉部・病院局

【質問】

徳島県鳴門病院が第3期中期計画を策定するに当たり、計画期間中に県がどのような支援を行うかによって大きく影響すると思うが、どのように考えるのか。

【答え】

徳島県鳴門病院が策定、提出する中期計画では、より具体的な収支計画まで定める必要があるので庁内関係課と調整の上、できる限り早期に県としての支援内容を示していきたいと考える。

【質問】

正規職員と臨時的雇用の看護師の給与面での待遇差に関する改善策をどのように考えるのか。

【答え】

求職者と求人施設との個々のニーズに合わせたきめ細やかな就業相談の実施など、求職者に寄り添った就労促進支援に引き続き取り組んでいきたいと考える。

令和2年度 9月徳島県議会定例会 文教厚生委員会（付託）教育委員会

【質問】

徳島県GIGAスクール構想推進本部や部会での検討結果をいつどのような方法で、学校や児童生徒、保護者にどのように情報発信されるのか。

【答え】

総合教育センターに徳島県GIGAスクール構想に関するホームページを立ち上げて、そこに徳島県GIGAスクール構想に関係する情報を一括して掲載することで、広く関係者に情報を発信していきたいと考える。

令和2年度 11月徳島県議会定例会 文教厚生委員会（付託）教育委員会

【質問】

不登校の児童生徒に対して、どのような支援を行っているのか。

【答え】

スクールカウンセラー等の専門スタッフと連携した相談を実施したり、教室には入れなくても保健室等の教室以外の場所への登校、市町村が設置している適応指導教室への通級、教員が家庭訪問等を行うことを通して、学びの支援とともに学校生活へ戻れるような支援を行っている。

【質問】

GIGAスクール構想で整備される環境を利用して、不登校の児童生徒に対して新たにどのような支援が可能になるのか。

【答え】

不登校の児童生徒に対して、オンラインでの指導機会が増えることで学習に対する理解を深めることができるとともに、リアルタイムに教室での学習の様子も伝えることができ、学校へ登校するきっかけ作りも期待できる。

【質問】

県教育委員会として、GIGAスクール構想で整備される環境を活用した不登校支援について、何か新たな考えはあるのか。

【答え】

徳島県GIGAスクール構想推進本部に有識者、関係各課から構成する新たな部会として、不登校児童生徒の学び支援検討部会を新設し、学校での実証を含めた指導モデル作りを早急に検討、開始したいと考える。

令和2年度 11月徳島県議会定例会 文教厚生委員会（付託）保健福祉部・病院局

【質問】

徳島県鳴門病院に関して、県立病院類似の高い目標を示している以上、それにふさわしい負担として少なくとも3部門の赤字額である約2億5,000万円を上回る負担額を実現し、職員の処遇改善を行うべきではないか。

【答え】

第3期中期目標の中では、職員の処遇改善について、抜本的な改善をすることとしているので、対応を検討していく。

【質問】

今後の新型コロナウイルスの感染拡大を見据えて、看護師の人材確保をどのように行っていくのか。

【答え】

求職者と求人施設との個々のニーズに合わせたきめ細やかな就労促進支援に取り組むとともに、AWAナースサポートセンターの登録看護職に対しては、新型コロナウイルス感染症対策における人材募集の情報提供を行い、関連業務への従事的意思や活動できる時期などを把握した上でコーディネートを実施している。

【質問】

より多くの離職看護師に現場復帰し活躍していただくために、医療機関の現状を周知する冊子を作成して配布してはどうか。

【答え】

医療機関で活躍されている看護職の取組状況や離職看護師が従事している業務などを紹介し、より多くの方が活動を理解し積極的に御協力いただけるように看護協会とも連携しながら、周知、啓発の方法などについて検討していく。

令和2年度 企業会計決算認定特別委員会

【質問】

災害が発生した場合の速やかな復旧に向けて管路の更新以外にどのような対策を考えているのか。

【答え】

関係機関との支援協定に基づく復旧訓練の開催や事前復興マニュアルの活用など、ハード・ソフト両面から大規模地震が発生した場合においても、工業用水の安定供給が速やかに確保できるよう取り組む。

【質問】

吉野川北岸工業水道、今切配水本管管更生工事や阿南工業用水道、幸野配水支管布設替工事など老朽化・耐震化対策に多額の事業費を投入しておりますが、企業局が所有している工業用水道施設について安定供給を確保するための設備全体の老朽化・耐震化対策の現状について教えてください。

【答え】

吉野川北岸工業用水道管におきましては、徳島県中央構造線活断層帯、活断層付近に配管されているということでありますので、活断層沿いにずれが生じた場合に配水管が被害を受ける可能性が高いことから、昨年度は災害時において迅速且つ円滑に復旧に対応できるよう、被災現場に近い場所での復旧、災害復旧拠点と指定活用できるように、吉野川北岸工業用水道の浄水場にバックアップセンターを整備いたしました。

答 国が本年7月に策定した養殖業成長産業化総合戦略も踏まえ、本県ならではの魚類養殖の振興に向けた、具体的な指針を検討するため、新たに、検討委員会を立ち上げる。

この委員会において、すだちブリのブランド力等、本県の強みを最大限活かした取組みに加え、IoTやAIを活用した漁場監視システムの導入、海水温の上昇に対応した養殖サイクルの見直し等、スマート漁業や気候変動適応策の実装についても、具体的な検討を進める。(農林水産部長答弁)

国営吉野川下流域地区における農業用水の利用拡大について

問 生産者の減少や高齢化といった、農業を取り巻く厳しい情勢に対応するためにも、省力化や規模拡大につながる、国営事業の用水を活用できる地域を広げていく必要があると考える。

そこで、とくしまブランド農産物の競争力強化に向け、今後、県として、国営吉野川下流域地区における農業用水の利用拡大にどのように取り組んでいくのか。

答 パイプラインの整備には、農家負担を伴うため、国営用水の利用を躊躇する地域が依然として残っている。

このため、国、県、市及び農業関係団体により設立された協議会を核として、メリットを目に見える形で示すことにより、農家の皆様の気運を高め、利用区域の拡大を図る。

また、本年度、鳴門市内のレンコン農家において、実証的に取り組まれているICTを活用した遠隔水管理システムといったスマート農業の普及拡大に向けた、基盤としても、パイプラインの整備を推進する。(農林水産部長答弁)

鳴門病院への更なる支援について

問 鳴門病院のこれまで以上の機能強化については、もう1歩踏み込んだ、更なる支援が必要ではないかと考える。

そこで、鳴門病院が新たな中期目標の達成に向け、取組みを着実に実行し、より一層、地域住民の期待に応えていけるよう、設立団体として、更なる支援策を実施していくべき。

答 鳴門病院は、まさに第4の県立病院として、引き続き、重要な役割を果たすべきとの認識のもと、来年度から4年間の第3期中期目標において、政策医療の更なる充実・強化や災害対応力の強化を盛り込み、達成に向けた取組みを指示したところである。

これを受け、鳴門病院では、現在、作成中の第3期中期計画において、救急総合診療センター(仮称)の整備をはじめ、更なる機能強化策を検討していると伺っており、県は、県立病院類似の高い目標を示した病院設置者として、鳴門病院が機能強化にしっかりと取り組むためにも、必要とされる運営費の負担について、前向きに検討する。(知事答弁)



県内企業の水素ビジネス参画の促進に向けた取組みについて

問 県内企業には、水素の有用性や活用分野、将来の可能性等が、まだまだ知られていない状況にあり、水素社会の実現を目指す県が主体となって、積極的な参画を促す取組みを行っていくことが必要と考える。

そこで、いち早い徳島発の水素社会の実現に向け、本県企業の水素ビジネスへの参画を促すために、今後、県としてどのように取り組んでいくのか。

答 企業への積極的な情報提供を行うとともに、来年度には、副生水素を活用して、製造から供給までを一体的に行う、全国初のビジネスモデルとなる水素ステーションが開設されることから、本県における情報発信やビジネスマッチングの拠点施設として、活用したいと考える。

加えて、具体的な事業展開を行う企業に対しては、地域の金融機関や中小企業支援団体が参画する徳島版ESG地域金融活用協議会において、資金調達に向けた支援を行うこととし、情報提供から事業資金に至るまで総合的なバックアップを行う。(危機管理環境部長答弁)

GIGAスクール構想で実現される学びと周知について

問 GIGAスクール構想に基づいて本県においても整備が進む環境を利用することで、子どもたちの多様な学び、個別最適化された学びを実現することができ、また、学力を含む人間力の育成にもつなげることができるものであり、子どもたちや保護者をはじめ、県民の皆様も大きな期待を寄せている。

そこで、大きな可能性を秘めた新たなICT教育環境のフル活用を通じて、県内全ての学校において、どのような学びが実現されていくのかを分かりやすく示すとともに、その内容を県民に広く周知すべき。

答 児童生徒の学びや教員の指導方法の大きな転換点であると考え、全県へ戦略的に展開するため、全教員に対する新たな研修を12月中旬から開始する。

また、児童生徒、保護者をはじめとする県民の皆様へ、新次元の学びのイメージをいち早く共有していただくため、WebページやSNS等での情報発信を一体的に行うなど、積極的かつ戦略的な周知を図る。(教育長答弁)



ホームページに各委員会での詳しい質問を載せて
おりますので是非御覧頂き、ご意見をお聞かせ下さい。



是非、ご意見を
お聞かせ下さい。

ホームページやフェイスブックで活動報告をしています。
TEL 088-685-6661
info@hara-tetsuji.com



<https://www.hara-tetsuji.com/>

原てつじ

